



複雑な部品を量産することが可能

佐藤金属工業株式会社

プレス加工とは思えない 精密プレス部品を製造

- 納期 期
- 相 談
- 企 画 力
- 自 信
- コ ス ト
- 相 談
- オンリー
- ワン
- 接 触
- メ ー ク
- イ ン
- テ ン
- 試 作 可
- 小 口
- 産 地
- 量 対

業務内容
複雑形状の部品を
プレス加工で量産

金属プレス加工を手掛ける佐藤金属工業が得意とするのは、複雑で微細な形状を持つプレス部品の製造だ。その仕上がりの細かさを見た人は「プレスで加工したとは思えない」と驚く。本来、複雑な形の部品は、切削等いくつもの工程を経てようやくでき上がる。

だが同社は、そうした手間ひまかかる部品を、わずか1回の工程に収めている。しかもクオリティが高いため、品質にシビアな自動車分野との取引高が売り上げの6割を占めるに至っている。

強み
ハイスピードな
順送冷鍛加工

同社の主力技術は「順送冷鍛加工」だ。1台のプレス機に金型を複数仕込み、そこに平らな鋼板を流すだけで、コマ数ミリ単位の曲げや溝のある立体的な部品が仕上がる。加えて、専用マシンがなければできない精密せん断もプレス機で行っている。

この工法により、量産、スピード、高品質を同時に実現している点が大きくな強みだ。切削で行うと生産量は1日に1000〜2000個だが、同社のプレス機だと、1日に5000〜2万個が生産可能なのだ。

また、剛性の強い設備とサーボプレス等の設備を使い、光沢のある美しい断面を生み出す技術を備えている他、3mm以上の中板プレス加工も得意としている。

対応力
プレスだけでなく、
金型製造から手掛ける

佐藤社長は「金型づくりのノウハウと、プレス加工技術の両方を備えている当社は、金型を工夫し、プレス機との調整を図りながらものづくりができるので、難しい形の部品でも手掛けることができます」と話す。

金型技術は、試作品の製造にも有利に働く。「切削でしかできないような部品を、プレス加工でできないか」という難問が持ち込まれても、二つ返事で引き受けることができる上、その部品が本場にプレス加工で実現できるかどうかの判断もできる。

今後の展望
この世にないものを
プレス加工で生み出す

動きを自在に制御できるサーボプレス等、剛性の高いプレス機を複数備えている点も強みだが、それを操る人材もまた重要だ。同社は、長年培ったプレス技術を若手に伝えるため、力量評価による人材育成に力を入れている。最近では、光ファイバーに関連した部品や、電気自動車の部品等の製造に声がかかっている。これからは、まったく新しい開発品の提案にも力を注ぎたいと、佐藤社長は意欲的だ。



高い精度を生み出す高剛性プレス

COMPANY PROFILE

佐藤金属工業株式会社

ISO 9001



祖父であり、先々代である創業者が金型職人だったため、金型とプレスの技術を兼ね備えた企業として当初から稼働してきました。堺市が自転車産業の町だったことから、もともとは自転車部品を手掛けていましたが、徐々に自動車部品の割合が増加。順送冷鍛加工をメインにもものづくりを行っているのは、関西の中小企業では当社だけではないでしょうか。

プレスを越えたプレス加工品をつくりたい。
開発力をさらに磨いていきたいですね。

代表取締役 佐藤 隆幸さん



■主な事業内容
自動車部品、自転車部品、民生用部品等

■主な取引先(納入先)
自転車メーカー、自動車部品メーカー等

住所 / 〒590-0984
堺市堺区神南辺町
5-152-5
TEL / 072-227-7715
FAX / 072-227-7129
創業 / 昭和23年1月
設立 / 昭和49年7月
資本金 / 2,000万円
従業員 / 20名

<http://www.satokk.com>